

## 一次審査通過者数の考え方（案）

一次審査、二次審査の 2 段階に分けて設計者を選定するプロポーザルにおける過去事例としては、下記の事例があります。

市川市（5 者程度）、新発田市（5 者程度）、川崎市（原則として上位 5 者）、千葉市（3 から 5 者）、清瀬市（優れた 5 者以下）、府中市（優れた 5 者程度）、各務原市—6 社

上記の事例も参考に、事務局としては、仮に応募が 5 者未満の可能性や 4、5、6 位の点差が僅差の場合などによって最終的な通過者数は判断することとして、一次審査通過者数を「5 者程度」とすることが望ましいと考えます。

### ■ 一次審査評価点の二次審査への持越しに関して

一次審査の評価点を二次審査に持ち越すか、持ち越さないかについての 2 通りの考え方があります。  
（一次審査において順位付けするか否か）

事務局としては、一次審査の評価点は二次審査への持越しはしない方針が望ましいと考えています。

理由： 一次審査は二次審査資料提出のエントリーのための審査と考えている。  
一次審査提案は二次審査提案でも反映されると考えられる。

※ 一次審査に技術提案を求めた上で、

二次審査に一次審査の評価点を持ち越していない事例	各務原市、市川市
二次審査に一次審査の評価点を持ち越している事例	新発田市

一次審査評価点の二次審査への持越しをしないことは、プロポーザル説明書にも明記します。

以上